



【教育 GP】原田先生フィールドワークゼミナール

淀川河口の漂着ゴミ調査の実施

7月27日（月）淀川河口の漂着ゴミの調査を行ってまいりました。2週間前には同じ場所で地元NPOの皆様と清掃活動を行ったばかりなのに、またゴミの増えた現状を見て学生達は驚いていました。先日の大雨により増水し、大潮の満潮時と重なったので、ものすごい量のゴミが流れ着いたとのことでした。そのほとんどはプラスチック製品です。圧倒的多数を占めるのはペットボトルと発泡スチロールと袋類です。このあたりは海も近いため、潮が満ちてくる際に漁具も川を遡って打ち上げられています



ゴミを別にすれば、ゴカイが住めるような砂地が戻ってきた、ということを目の当たりにし、川の水もきれいになったと実感できました。

そこで、突然ですが、潮干狩りを行いました。ペットボトルのキャップを比較対象に横に並べてみたのですが、本当に立派なシジミです。学生が持って帰ってお味噌汁にすることになりました。淀川のシジミなんて食べられるの？と思った方、梅田の阪神百貨店では「魚庭の鼈甲しじみ（なにわのべっこうしじみ）」として売られているのです！ちなみに「魚庭」は「なにわ」の語源のひとつ、とされているそうです。



原田先生フィールドワークゼミナール

（フィールドワークにおける河川環境保全の研究 ―淀川流域の問題解決プロジェクト―）